

8. 平成20年中の少年非行等の概要

1 少年非行

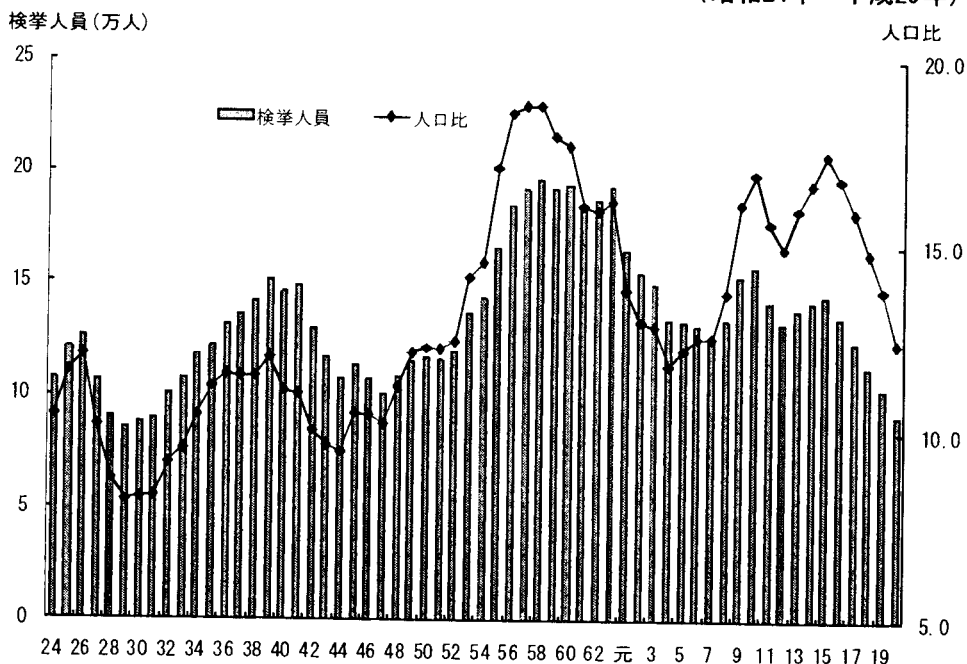
(1) 刑法犯少年は5年連続で減少

- ・ 刑法犯少年は9万966人(前年比11.9%減)と減少。
- ・ 人口比(同年齢層人口1,000人当たりの検挙人員)は12.4(同1.4減)で、成人(2.4)の5.2倍と高水準で推移。
- ・ 成人を含めた総検挙人員に占める少年の割合は26.8%。

年次	11年	16年	17年	18年	19年	20年
検挙人員(人)	141,721	134,847	123,715	112,817	103,224	90,966
(人口比)	15.6	16.8	15.9	14.8	13.8	12.4
凶悪犯	2,237	1,584	1,441	1,170	1,042	956
殺人	110	57	67	69	62	50
強盗	1,611	1,273	1,146	892	757	713
粗暴犯	15,930	11,439	10,458	9,817	9,248	8,645
窃盗犯	86,561	76,637	71,147	62,637	58,150	52,557
知能犯	561	1,240	1,160	1,294	1,142	1,135
風俗犯	409	344	383	346	341	389
その他の刑法犯	36,023	43,603	39,126	37,553	33,301	27,284
少年の割合(%)	44.9	34.7	32.0	29.4	28.2	26.8

刑法犯少年の検挙人員及び人口比の推移

(昭和24年～平成20年)



注) 交通業過を除く刑法犯(ただし、昭和40年以前は盗品等に関する罪、住居侵入等も除く。)

(2) 街頭犯罪の検挙人員は減少

街頭犯罪の検挙人員は2万1,157人(前年比13.5%減)で、総検挙人員に占める少年の割合は58.8%(同1.2ポイント減)。

年次	11年	16年	17年	18年	19年	20年	少年の割合(%)
総数(人)	41,314	31,277	28,800	26,797	24,462	21,157	58.8
路上強盗	1,111	763	707	553	431	425	48.9
ひったくり	2,420	1,352	1,025	834	796	640	51.2
車上ねらい	704	681	527	547	542	453	20.1
部品ねらい	1,234	1,255	1,204	1,132	1,037	992	61.2
自販機ねらい	1,044	1,933	1,479	912	650	460	56.2
自動車盗	1,658	1,216	938	852	655	508	22.8
オートバイ盗	16,872	8,735	8,188	7,311	6,740	5,702	94.1
自転車盗	16,271	15,342	14,732	14,656	13,611	11,977	57.4

(3) 初発型非行の検挙人員は減少

初発型非行の検挙人員は6万4,550人(前年比13.9%減)で、刑法犯少年全体に占める初発型非行の割合は71.0%(同1.6ポイント減)。

年次	11年	16年	17年	18年	19年	20年
総数(人)	104,644	100,136	91,696	82,656	74,949	64,550
万引き	39,429	38,865	36,450	30,161	28,161	26,277
オートバイ盗	16,872	8,735	8,188	7,311	6,740	5,702
自転車盗	16,271	15,342	14,732	14,656	13,611	11,977
占有離脱物横領	32,072	37,194	32,326	30,528	26,437	20,594
刑法犯少年全体に占める初発型非行の割合(%)	73.8	74.3	74.1	73.3	72.6	71.0

※ 街頭犯罪と初発型非行の検挙人員の減少数(オートバイ盗と自転車盗の重複を除く)が、刑法犯少年検挙人員の減少数の90.0%を占めている。

(4) 刑法犯少年の再犯者数は5年連続で減少

刑法犯少年の再犯者数は2万8,404人(前年比9.0%減)と減少。
再犯者の人口比は3.9(同0.3減)で、成人(1.08)の3.6倍。

年次	11年	16年	17年	18年	19年	20年
再犯者数(人)	35,213	37,866	35,510	33,842	31,230	28,404
人口比	3.9	4.7	4.6	4.4	4.2	3.9

(5) 触法少年(刑法)は減少

補導人員総数は1万7,568人(前年比1.9%減)と減少。

年次	11年	16年	17年	18年	19年	20年
総数(人)	22,503	20,191	20,519	18,787	17,904	17,568
凶悪犯	173	219	202	225	171	110
粗暴犯	1,507	1,301	1,624	1,467	1,425	1,347
窃盗犯	16,968	13,710	13,336	11,945	11,193	11,356
知能犯	21	46	57	63	55	65

(6) 大麻・麻薬事犯は増加

大麻取締法違反の送致人員は227人(前年比26.8%増)、麻薬及び向精神薬取締法違反の送致人員は31人(同3.3%増)と増加。

覚せい剤取締法違反、毒物及び劇物取締法違反、あへん法違反の送致人員は減少。

年次	11年	16年	17年	18年	19年	20年
覚取法(人)	996	388	427	289	305	249
大麻法(人)	115	221	174	187	179	227
麻向法(人)	16	80	64	36	30	31
うちMDMA等	1	67	63	31	24	25
毒劇法(人)	5,279	2,581	1,616	981	791	565
うちシンナー等	4,184	2,205	1,368	841	652	476
あへん法(人)	0	0	0	0	1	0

(7) 不良行為少年の補導人員は減少

警察が補導した不良行為少年は136万1,769人(前年比12.2%減)と減少。喫煙と深夜はいかいでほぼ9割。

年次	11年	16年	17年	18年	19年	20年
総数(人)	1,008,362	1,419,085	1,367,351	1,427,928	1,551,726	1,361,769
深夜はいかい	328,248	669,214	671,175	719,732	795,430	732,838
喫煙	492,372	575,749	545,601	557,079	602,763	497,658

2 少年の犯罪被害

(1) 少年が主たる被害者となった刑法犯認知件数は減少

少年が主たる被害者となった刑法犯認知件数は28万9,035件(前年比5.1%減)と減少。

13歳未満の少年の凶悪犯、暴力的性犯罪被害は増加。

年次	11年	16年	17年	18年	19年	20年
刑法犯少年被害総数(件)	313,985	356,426	326,042	309,104	304,685	289,035
凶悪犯	1,600	1,935	1,668	1,462	1,345	1,231
粗暴犯	17,274	20,488	18,039	16,784	15,775	14,443
窃盗犯	278,396	302,233	275,732	261,718	260,560	250,179
13歳未満被害総数(件)	31,835	37,054	34,459	32,957	34,458	33,328
凶悪犯	170	196	194	186	171	195
粗暴犯	1,171	2,341	2,088	1,900	1,719	1,566
暴力的性犯罪	1,527	1,796	1,484	1,114	1,012	1,036
窃盗犯	28,347	31,314	29,327	28,478	30,350	29,394

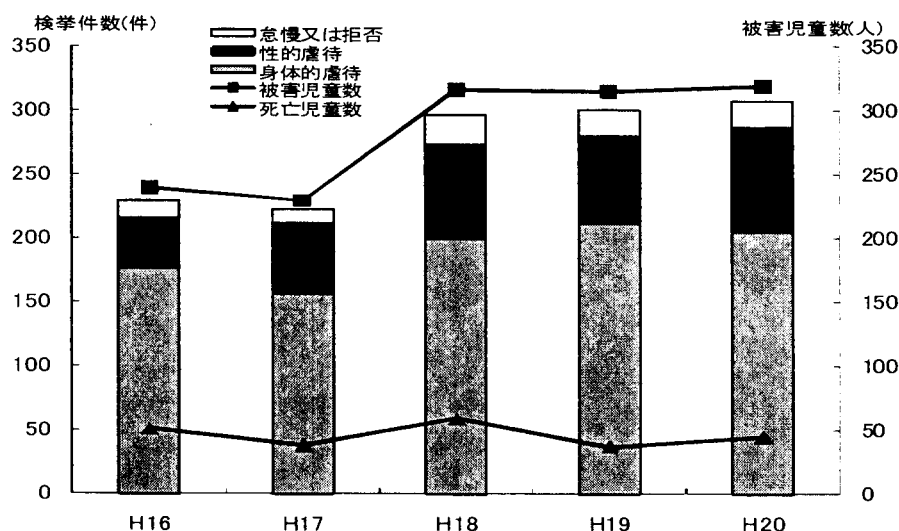
注) 暴力的性犯罪とは、強姦、強制わいせつ、強盗強姦及びわいせつ目的略取誘拐をいう。

(2) 児童虐待事件は高水準で推移

児童虐待事件の検挙件数は307件(前年比2.3%増)、検挙人員は319人(同1.2%減)、被害児童数は319人(同1.3%増)と高水準で推移。

死亡児童数は45人(同21.6%増)と増加。

児童虐待の態様別検挙件数・被害児童数(平成16年～平成20年)



(3) 児童ポルノ事件は増加

- 児童買春事件の送致件数は1,056件(前年比21.6%減)、被害児童数は846人(同26.0%減)と減少。
- 児童ポルノ事件の送致件数は676件(同19.2%増)、被害児童数は338人(同22.9%増)と増加。

区分	送致件数(件)			送致人員(人)			被害児童数(人)		
	計	児童買春	児童ポルノ	計	児童買春	児童ポルノ	計	児童買春	児童ポルノ
20年	1,732	1,056	676	1,272	860	412	1,184	846	338
19年	1,914	1,347	567	1,361	984	377	1,419	1,144	275
18年	2,229	1,613	616	1,490	1,140	350	1,578	1,325	253
17年	2,049	1,579	470	1,336	1,024	312	1,750	1,504	246
16年	1,845	1,668	177	1,232	1,095	137	1,678	1,596	82

3 今後の対応

引き続き、学校等の関係機関・団体・ボランティアと連携、協働し、街頭補導活動、非行防止教室、薬物乱用防止教室等の実施による少年の規範意識の向上、継続補導等による立直り支援等の施策を総合的に推進して少年非行を防止するとともに、子どもを児童虐待・児童ポルノ等の犯罪被害から守る取組みを推進する。